

様式第五十の三（第48条第6項関係）

認定事業再編計画の実施状況の概要の公表

1. 認定の日付

令和2年2月28日

2. 認定事業再編事業者の名称

株式会社カーブスホールディングス

3. 認定事業再編計画の実施期間

2020年3月～2022年8月

4. 事業再編に係る事業の達成状況等

（1）事業再編に係る事業の達成状況

認定計画に基づき、以下のとおり事業再編を行った。

（事業の構造の変更）

・出資の受入れ

当社は東京証券取引所への上場に際し、公募増資を実施した。

増資額：1,657,293,750円

増資前資本金：20,018,000円

増資する資本金：828,646,875円

増資の方法：公募増資

増資予定日：2020年3月1日

・カーブス事業のスピノフ

（当社株式の株式会社コシダカホールディングス（KHD）株主に対する現物分配）

<現物分配実施会社（KHD）>

名称：株式会社コシダカホールディングス

住所：群馬県前橋市大友町一丁目5番地1

代表者の氏名：代表取締役社長 腰高博

資本金：2,070,257,500円

<現物分配対象会社（当社）>

名称：株式会社カーブスホールディングス

住所：東京都港区芝浦三丁目9番1号

代表者の氏名：代表取締役社長 増本岳

資本金：848,666,875円（2022年8月31日現在）

（事業の分野又は方式の変更）

スピノフによる東京証券取引所への上場に際して実施した公募増資で調達した資金の内、773百万円を国内カーブス事業における会員管理システムの増強等のシステム投資に充当することを計画し、2020年8月期に305百万円、2021年8月期に471百万円をシステム投資として実施しました。

また、当該システム投資により国内カーブス事業の生産性向上、男性版カーブス事業の展開を

図り、2022年8月期に男性版カーブス事業に係る新規事業売上高を全社売上高の1.1%とすることを目標としました。しかしながら2020年3月以降のコロナショックにより男性版カーブスの展開は計画から大きく乖離し、新規事業売上の全社売上高に対する割合は0.6%に留まりました。

## (2) 生産性の向上を示す数値目標の達成状況

当社における計画の対象となる事業の生産性の向上としては、2022年8月期に2019年8月期に比べて、従業員1人当たりの付加価値を8.9%以上向上させることを目標とした。財務内容の健全性の向上としては、2022年8月期において当社の有利子負債をキャッシュ・フローの△0.8倍、経常収支比率は136.6%とする目標とした。

コロナショックの続く環境下、感染予防を徹底した営業の継続とマーケティングの強化による会員数の回復に注力しましたが、売上高、営業利益ともに当初の計画に対して大幅に未達となったことにより、上記の各数値目標についても未達となりました。

従業員1人当たりの付加価値については、目標+8.9%に対し、△20.4%となりました。

また、財務内容の健全性の向上については、有利子負債はキャッシュ・フローの0.9倍、経常収支比率は122.9%に留まりました。

## 5. 事業再編に伴う労務に関する事項

### (1) 事業再編の開始時期の従業員数 (2019年8月末時点)

株式会社カーブスホールディングス	23名
国内子会社	482名
海外子会社	24名
合計	529名

### (2) 事業再編の終了時期の従業員数 (2022年8月末時点)

	計画	実績
株式会社カーブスホールディングス	29名	26名
国内子会社	549名	501名
海外子会社	24名	30名
合計	602名	557名

### (3) 事業再編期間中、新規に採用した従業員数

	計画	実績
株式会社カーブスホールディングス	6名	10名
国内子会社	142名	189名
海外子会社	0名	15名
合計	148名	214名

### (4) 事業再編に伴い出向又は解雇された従業員数

該当事項無し

以上